

将来の生活の視点で考える 幼児から成人までの教育・支援

社会福祉法人つつじ（広島県東広島市）

広島県発達障害地域支援体制マネジメント事業地域支援マネジャー

児童発達支援センター「ぐるんぱ」総括ディレクター

水野 敦之さん

自閉症教育・支援の中では、将来の生活をイメージした課題内容や支援を考えることが重要になります。今回は、自閉症生活デザインコーディネーターであり、自閉症教育・支援コンサルタントでもある水野さんをお招きして、幼児から成人期までの各年代にあわせた課題内容や支援について、お話ししていただきます。合わせて様々な余暇や仕事など生活場面ごとの支援についても解説していただきます。

水野さんは、現在、広島で社会福祉法人つつじに勤務しながら、全国数か所の自閉症の教育・支援に関する事業体および自治体でコンサルテーションも行われています。将来の生活の視点で考える幼児から成人までの一貫した自閉症支援について、水野さんの豊富な経験と実績から整理されたお話を、ぜひ一緒にお聞きしましょう。

日時 平成28年3月6日（日）

午前 9：30～12：00

（受付9：00～）

場所 石川県地場産業振興センター

本館 第5研修室

金沢市鞍月2丁目1番地 TEL 076-268-2010（定員150名）

会費 会員500円 会員外1500円（当日お持ち下さい。）

主催 いしかわTEACCHプログラム研究会

***申し込みはFAXまたはメールで**定員になり次第締めきります。

申込先 事務局 木崎伸子 fax 076-274-1946

（FAX申込みの場合、お受けできない時以外の返信はありません）

メールアドレス teacch_ishikawa@yahoo.co.jp

氏名（ふりがな）、〒番号、住所、電話番号、FAX番号、所属、本研究会会員・会員以外を明記の上、お申し込み下さい。

水野先生の著書

『「気づき」と「できる」から始めるフレームワークを活用した自閉症支援』

（エンパワメント研究所）

